

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス くるみ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 25日		2026年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年 2月 25日		2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族様との情報共有が出来ており、児童の短所、長所等それぞれにあった個別支援の統一が図れている。	日々の様子等に变化等あった場合、ラインや連絡帳等でスピード感を持って取り組んでいる。	学校との情報共有が薄いため、保育所等訪問や担当者会議等で連携が取れるようにしていく。
2	それぞれ児童の特性に合った支援、小集団での活動が難しい場合、個別にて支援を行っている。活動の参加に強要はせず、見学にするかの選択肢を選んで頂く。	個別支援では作業療法士対応で専門的にも充実している。	小集団での活動が難しい児童に関しては、徐々に慣れて行けるように無理をせず取り組んでいく。
3	特別支援学校に通っている児童が多く在籍している為、活動等が同じペースで進められる事、又、児童に無理のない支援で活動出来る事。敷地内に畑があり、季節の野菜や花等を児童と植え付けをし各児童担当で水やりや収穫まで行い、植物の成長を見守り観察を行っている。	小1から高1まで在籍している児童がいる為、活動内容を上級生と下級生にグループ分けをしている。畑に関して土作りや追肥を職員が行い、植え付け等の工程を児童が行うようにしている。	全児童が同じ活動が出来る様に、活動内容の変更等を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所がワンフロアなので、見守り等に関しては安全であるが、個別での活動をするにあたり、スペースの確保が出来ない。	個室はあるが事務所横である為、パソコンや書類等が多くある。	書類や物品等を整理し、児童が触らないように配慮し個室の確保をします。
2	特別支援学校の児童が大半を占めているが、送迎時以外で先生に普段の様子、本日の様子を聞く機会があまりない。	特別支援学校の送迎には他の事業所も多く、児童が乗車したら即出発の為、先生も話す時間が作れない。	普段の様子に関しては特別特変なき場合、情報の交換は簡素でも構わないが、学校で特変ありの場合は学校での情報交換が困難な場合、送迎時でない時間帯に電話連絡が出来る体制を作る。
3	小1～高1までの児童が在籍しており同じ活動をした場合、下級生の児童が活動について来れない。逆にした場合、上級生からすると物足りなさが垣間見える。	ワンフロアで見守りや活動するには十分のスペースがあるがワンフロア故に上級生、下級生に分ける事が困難である。	「静」の活動、「動」の活動で上級生、下級生で分け、お互いが活動の妨げにならないように工夫していきます。